



あさひ台

学 校 報
第 505 号
R5. 2. 24
五城目小学校

学校教育目標	夢高く 心たくましく 学び合う五小の子 ～ つなぐ ひらく つくる ～
--------	--

五城目小学校のふるさと教育

秋田県は、人間としてのよりよい生き方を求めて昭和 61 年度から「心の教育」に取り組んできました。その充実・発展を目指し、平成 5 年度から学校教育共通実践課題として推進しているのが「ふるさと教育」です。県では、地域、家庭、企業等、ふるさとを学びのフィールドとし、校種間連携、地域連携を重視して、「ふるさとのよさの発見」「ふるさとへの愛着心の醸成」「ふるさとに生きる意欲の喚起」をねらいとしています。

これを受け本校では「地域の人々や自然・文化とかがわる中で、郷土のよさを見付け、郷土を愛する子どもの育成」を主題とし、次のように、地域素材を活用したり地域の方々から支援をいただいたりして、学習活動を展開しています。

教科等	地域素材、学習内容等
国語科	民話や伝記
社会科	地域探検、先人の働き、昔の道具
理 科	植物の観察・採集、地形の観察
生活科	昔遊び、町探検、こども園との交流
図画工作科	自然物を用いた工作
道 徳	親切・思いやり、伝統と文化の尊重、自然愛護、国際理解
総合的な学習の時間	朝市、こども園、福祉施設、地域の自然、先輩に学ぶ
特別活動	クラブ活動、縦割り班活動、栽培活動、修学旅行・校外学習
地域との連携 (敬称略)	お話ポシェット、学校支援地域ボランティア、山内番楽保存会、地域行事、町芸術文化協会、株式会社「ハバタク」 など

広報ごじょうめ 2 月号では、1 月 17 日の縦割り班かるた集会の様子が紹介されました。このかるたは、平成 11 年 3 月に「地域の人々や自然・文化・伝統などとの触れ合いを通して思いやりの心を培い、ふるさとにはたらきかける子どもの育成」をスローガンとした教育活動の総決算として、当時の五小っ子によって制作されたものです。昨年度、縦割り班かるた集会で復活し、今年度も継続しました。

謙遜の気持ちからか「五城目町（秋田県）は何もない所」という言葉も耳にしますが、「五城目町（秋田、日本）には〇〇がある」と、胸を張って言える子ども、そして思いやりの心をもち自他を大切にすることに育ってほしいと願っています。
(校長 島崎徳之)

